

Formula NIPPON NEWS 2010.7.17
全日本選手権フォーミュラ・ニッポン
第3戦・予選 [富士スピードウェイ]

2010 年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第3戦・フリー走行1-2

フリー走行1回目は、石浦宏明が1'26.747でトップを奪う！

夏休みシーズンを迎えた7月17日(土)、富士スピードウェイではフォーミュラ・ニッポン第3戦の予選・決勝に先立ち、2回のフリー走行が行なわれた。その最初のセッションでトップタイムを奪ったのは、8 石浦宏明(Team LeMans)。これに36 アンドレ・ロッター(PETRONAS TOMS)、1 ロイック・デュバル(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、19.J.P.デ・オリベイラ(Mobil 1 TEAM IMPUL)と続いている。

今週の前半は風雨が激しく、荒れた天候となった富士周辺。しかし、昨日からは一気に好天に恵まれ、真夏の青空が広がった。この天候は週末を通して続く見込みだが、ドライバーにとってもマシンにとっても、厳しいレースとなることは間違いない。

そんな中、午前9時から第1回目のフリー走行が開始された。セッション開始時点でも気温は26、路面温度は29まで上昇し、汗ばむようなコンディションとなった。今回は、土曜日と日曜日の2日間を通して、使用できるタイヤがユーズド1セットとニュー4セットということで、朝の走行ではほとんどのドライバーもニュータイヤは使用しなかった。唯一、このセッションでニュータイヤでの走行となったのは、今回、土曜日のフリー走行を活用してテストだけを行なうことになった3 松田次生(KONDO RACING)。残るドライバーは、午後のセッション最後にニュータイヤを1セット使用し、予選シミュレーションを行なうと見られている。

このセッションでは、コースがオープンされると、半分ほどのマシンがコースイン。マシンの状態をチェックする。その後、開始から数分というところで、石浦が早くも1'26.747というタイムをマークした。これに続いて、ロッターや31 山本尚貴(NAKAJIMA RACING)、32 小暮卓史(NAKAJIMA RACING)らが1分27秒台前半までタイムを伸ばしてくる。一方、セッション前半は走行せず、路面コンディションの好転を待っていたのが、デュバルと20 平手晃平(Mobil 1 TEAM IMPUL)。デュバルは走り出して間もなく1'27.128というタイムをポンと出し、セッション3番手に滑り込んできた。これとほぼ同時に自己ベストを更新して4番手につけたのは、ランキングトップのオリベイラ。しかし、45分のセッションを通じて、石浦のタイムを上回ったドライバーはいなかった。この結果、石浦がトップ。以下、ロッター、デュバル、オリベイラと外国人勢が続いた。一方、ランキング4位につけている10 塚越広大(HFDP RACING)は、セッション終了間際、100Rでストップ。だが、これはトラブルではなく、ガス欠のため。今回のレースは200kmと距離が短く、スタート時の燃料搭載量も勝負を分けるポイントとなるため、どこまでガソリンを吸うことができるかをテストしていたということだ。

注目のフリー走行2回目が始まるのは、午後1時50分から。このセッションは午前中よりも長く、1時間で行なわれるが、終盤にはいよいよタイムアタックシミュレーションが見られるはず。これが明日の予選タイムを占うものになる。

Formula NIPPON NEWS 2010.7.17
全日本選手権フォーミュラ・ニッポン
第3戦・予選 [富士スピードウェイ]

富士を得意とするロッテラーが、フリー走行2回目のトップを奪う

午前中に行なわれたフリー走行1回目終了後、梅雨明け宣言が出された東海地方。富士スピードウェイもまさにカンカン照りの真夏日となり、午後に向けて暑さを増していった。

そんな中、午後1時50分からフォーミュラ・ニッポン第3戦のフリー走行2回目が始まった。この時点で気温は31℃、路面温度は48℃。路面温度に関しては、すでに午前中よりも20℃近く高くなっていた。コースがオープンされると、間もなくほとんどのマシンが午前中に使用していたユーズドタイヤを装着してコースイン、周回を重ねて行く。しかし、タイヤの摩耗が進んでいることや路面温度が高くなったことが影響し、多くのドライバーはオーバーステアの状態になりながらの走行となる。その影響で、軽くスピンするマシンも多かった。中でも開始から約9分という時点で、3松田次生(KONDO RACING)がプリウスコーナーのブレーキングでバランスを崩してスピン。一時ストップする場面もあった。だが松田は、オフィシャルの押しがけによってピットに戻り、テスト走行を続行している。

その後も各ドライバーは細かなセットアップの調整を行っていたが、1時間のセッションが丁度中盤に差し掛かったところで、ルーキーの29井口卓人(DELIZIEFOLLIE/CERUMO・INGING)がニュータイヤを投入。他のドライバーに先駆けてタイムアタックを行なうと、1分28秒055というタイムをマークする。その後、セッションの残り時間が約15分となったあたりでは、20平手晃平(Mobil 1 TEAM IMPUL)や7ケイ・コッツォリーノ(Team LeMans)らがニュータイヤを装着してコースイン。さらに残り時間が10分を切ったあたりからは、残るマシンもニュータイヤを装着してタイムアタックへと向かった。しかし、終盤アタックに入ったドライバーの何人かは、コースインのタイミングがほぼ同じということで困り状態になってしまい、クリアラップを取れないドライバーも多かった。その中で2番手に対しコンマ2秒余りの差を付ける1分26秒888というタイムをマークしてトップを奪ったのが、富士を得意とする36アンドレ・ロッテラー(PETRONAS TEAM TOMS)。前回のもてぎ戦から復調の兆しを見せ始めたディフェンディング・チャンピオンの1ロイック・デュバル(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)が2番手。以下、32小暮卓史(NAKAJIMA RACING)、19J.P.デ・オリベイラ(Mobil 1 TEAM IMPUL)と、ランキングを争っているドライバーたちが、上位にズラリと並んだ。

明日の予選は、午前9時15分からということで、コンディショナルには今日のフリー走行とほぼ同じになることが予想されるが、その中でPPを獲得するのは誰になるのか。また違った展開が待っているのかも知れない。

Formula NIPPON NEWS 2010.7.17
 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン
 第3戦・予選 [富士スピードウェイ]

第3戦富士・フリー走行1結果

富士スピードウェイ (全長) 4,563m

天候：曇り コース：ドライ

Pos	No	Name	Nat	Team	Type	Engine	Best Time	Lap	Gap	Ave.km/h
1	8	石浦 宏明	JPN	Team LeMans	FN09	RV8K	1'26.747	3/11		189.364
2	36	Andre Lotterer	GER	PETRONAS TEAM TOM'S	FN09	RV8K	1'27.066	9/16	0.319 0.319	188.671
3	1	Loic Duval	FRA	DOCOMOTEAM DANDELION RACING	FN09	HR10E	1'27.128	7/10	0.381 0.062	188.536
4	19	Joao Paulo de Oliveira	BRA	Mobil1 TEAM IMPUL	FN09	RV8K	1'27.245	8/13	0.498 0.117	188.284
5	32	小暮卓史	JPN	NAKAJIMA RACING	FN09	HR10E	1'27.297	5/13	0.550 0.052	188.171
6	2	伊沢 拓也	JPN	DOCOMOTEAM DANDELION RACING	FN09	HR10E	1'27.365	8/12	0.618 0.068	188.025
7	31	山本尚貴	JPN	NAKAJIMA RACING	FN09	HR10E	1'27.446	4/14	0.699 0.081	187.851
8	20	平手 晃平	JPN	Mobil1 TEAM IMPUL	FN09	RV8K	1'27.460	4/11	0.713 0.014	187.821
9	37	大嶋 和也	JPN	PETRONAS TEAM TOM'S	FN09	RV8K	1'27.523	12/15	0.776 0.063	187.686
*1	3	松田 次生	JPN	KONDO FN09	FN09	RV8K	1'27.560	9/11	0.813 0.037	187.606
10	10	塚越 広大	JPN	HFDP RACING	FN09	HR10E	1'27.697	14/14	0.950 0.137	187.313
11	7	Kei Cozzolino	ITA	Team LeMans	FN09	RV8K	1'27.777	4/27	1.030 0.080	187.142
12	16	井出 有治	JPN	MOTUL TEAM 無限	FN09	HR10E	1'28.126	5/16	1.379 0.349	186.401
13	29	井口卓人	JPN	DELIZIEFOLLIE/CERMO-INGING	FN09	RV8K	1'28.225	3/20	1.478 0.099	186.192
14	18	平中 克幸	JPN	KCMG	FN09	RV8K	1'28.281	6/14	1.534 0.056	186.074

1 CarNo.3 は、公式通知 No.10 に基づく参加車両

Formula NIPPON NEWS 2010.7.17
 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン
 第3戦・予選 [富士スピードウェイ]

第3戦富士・フリー走行2 結果

天候：曇り コース：ドライ

Pos	No	Name	Nat	Team	Type	Engine	Best Time	Lap	Gap	Ave.km/h
1	36	Andre Lotterer	GER	PETRONAS TEAM TOMS	FN09	RV8K	1'26.888	23/24		189.057
2	1	Loic Duval	FRA	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	FN09	HR10E	1'27.113	19/20	0.225 0.225	188.569
3	32	小暮卓史	JPN	NAKAJIMA RACING	FN09	HR10E	1'27.222	22/23	0.334 0.109	188.333
4	19	Joao Paulo de Oliveira	BRA	Mobil1 TEAM IMPUL	FN09	RV8K	1'27.276	22/23	0.388 0.054	188.217
5	2	伊沢 拓也	JPN	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	FN09	HR10E	1'27.285	19/21	0.397 0.009	188.197
6	10	塚越 広大	JPN	HFDP RACING	FN09	HR10E	1'27.388	18/19	0.500 0.103	187.975
7	31	山本尚貴	JPN	NAKAJIMA RACING	FN09	HR10E	1'27.418	21/23	0.530 0.030	187.911
8	37	大嶋 和也	JPN	PETRONAS TEAM TOMS	FN09	RV8K	1'27.502	18/19	0.614 0.084	187.731
9	20	平手 晃平	JPN	Mobil1 TEAM IMPUL	FN09	RV8K	1'27.513	19/23	0.625 0.011	187.707
10	8	石浦 宏明	JPN	Team LeMans	FN09	RV8K	1'27.769	22/23	0.881 0.256	187.159
11	18	平中 克幸	JPN	KCMG	FN09	RV8K	1'28.018	15/16	1.130 0.249	186.630
12	29	井口卓人	JPN	DELIZIEFOLLIE/CERMO-INGING	FN09	RV8K	1'28.055	12/28	1.167 0.037	186.552
*1	3	松田 次生	JPN	KONDO FN09	FN09	RV8K	1'28.082	18/21	1.194 0.027	186.494
13	16	井出 有治	JPN	MOTUL TEAM 無限	FN09	HR10E	1'28.240	19/21	1.352 0.158	186.160
14	7	Kei Cozzolino	ITA	Team LeMans	FN09	RV8K	1'28.242	22/27	1.354 0.002	186.156

1 CarNo.3 は、公式通知 No.10 に基づく参加車両

【この件に関するお問い合わせ】

株式会社日本レースプロモーション

広報担当 外間

media@f-nippon.co.jp